

# 協議会だより

第 33 号  
令和7年2月14日

## 令和6年度優良表彰

令和6年10月4日（金）に現地ヒアリングと審査を実施し、次の5組織が知事賞をはじめ各賞を受賞されました。いずれも地域の特徴を生かした活動を実践され、地域の活性化が図られるなど、これまでの活動が高く評価されました。

### ○地域保全・地域活性化部門

賞名	市町村	組織名
京都府知事賞	伊根町	伊根町農村広域協定運営委員会
京都府農業協同組合中央会長賞	福知山市	萩原集落協定
京都府農業会議会長賞	京都市	越畑農事組合集落協定
京都府土地改良事業団体連合会長賞	南丹市	中村地域活動組織

### ○環境保全型農業部門

賞名	市町村	組織名
京都府農地・水・環境保全向上対策協議会長賞	京都市	薫茶会

表彰式と受賞組織の紹介パネルの展示を11月30日（土）、12月1日（日）に開催された「京都府農林水産フェスティバル2024」で行いました。



表彰式の様子



展示の様子

受賞組織の紹介パネルは本協議会のHPにて掲載しています  
([http://www.nouchimizu-kyoto.jp/sub5\\_b.html](http://www.nouchimizu-kyoto.jp/sub5_b.html))

# 第15回農と水と環境を守る子ども絵画コンクール

本年度は、676点の応募があり、令和6年10月3日（木）に知事賞他の審査を実施し、14点の入賞作品が決定しました。

表彰式と入賞作品の展示を11月30日（土）、12月1日（日）に開催された「京都府農林水産フェスティバル2024」で行いました。



表彰式の様子



展示の様子

## ～審査委員長からの講評～

今回は、昨年より応募作品が176点も増えており、非常に難しい審査となりました。

低学年の作品は、のびのびと力強く、感情豊かに描かれ、高学年の作品は、絵画コンクールの趣旨に沿った緻密な絵柄の作品が多数あり、苦心して選考いたしました。

絵画コンクールを通じて農地と水と環境を守るという趣旨が、その担い手であるお子さん達に浸透していくことを願います。

京都新聞社 編集局報道部  
クロス報道センター長  
岡本 壮

第15回 農と水と環境を守る  
子ども絵画コンクール  
2025 calendar

京都府知事賞 京都府知事賞 入賞作品

1 JANUARY  
S M T W T F S  
1 2 3 4  
5 6 7 8 9 10 11  
12 13 14 15 16 17 18  
19 20 21 22 23 24 25  
26 27 28 29 30 31

2 FEBRUARY  
S M T W T F S  
1 2 3 4 5  
6 7 8 9 10 11 12 13 14 15  
16 17 18 19 20 21 22  
23 24 25 26 27 28

3 MARCH  
S M T W T F S  
1 2 3 4 5 6 7 8  
9 10 11 12 13 14 15  
16 17 18 19 20 21 22  
23 24 25 26 27 28 29

4 APRIL  
S M T W T F S  
1 2 3 4 5  
6 7 8 9 10 11 12  
13 14 15 16 17 18 19  
20 21 22 23 24 25 26  
27 28 29 30

5 MAY  
S M T W T F S  
1 2 3  
4 5 6 7 8 9 10  
11 12 13 14 15 16 17  
18 19 20 21 22 23 24  
25 26 27 28 29 30 31

6 JUNE  
S M T W T F S  
1 2 3 4 5 6 7  
8 9 10 11 12 13 14  
15 16 17 18 19 20 21  
22 23 24 25 26 27 28  
29 30

7 JULY  
S M T W T F S  
1 2 3 4 5  
6 7 8 9 10 11 12  
13 14 15 16 17 18 19  
20 21 22 23 24 25 26  
27 28 29 30 31

8 AUGUST  
S M T W T F S  
1 2 3 4  
5 6 7 8 9 10 11 12 13  
14 15 16 17 18 19 20 21 22 23  
24 25 26 27 28 29 30 31

9 SEPTEMBER  
S M T W T F S  
1 2 3 4 5  
6 7 8 9 10 11 12 13  
14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

10 OCTOBER  
S M T W T F S  
1 2 3 4  
5 6 7 8 9 10 11 12 13  
14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

11 NOVEMBER  
S M T W T F S  
1 2 3 4  
5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15  
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

12 DECEMBER  
S M T W T F S  
1 2 3 4 5 6  
7 8 9 10 11 12 13 14 15  
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会 (構成団体：京都府、市町村、京都府農業協同組合中央会、京都府農業会議、京都府土地改良事業団体連合会)

## 受賞作品掲載2025年カレンダー

入賞作品は本協議会のHPにて掲載しています  
(<http://www.nouchimizu-kyoto.jp/sub5.html>)

# 京都府日本型直接支払推進シンポジウムを開催！

令和6年12月8日（日）、ガレリアかめおか（亀岡市）において、令和7年度から新たな対策が開始される日本型直接支払制度について、農村地域の人口減少や高齢化が急速に進行する中、これまで地域で続けられてきた保全活動等の継続、一層の充実を図る機運を醸成することを目的に本協議会と京都府の共催により、活動組織等の関係者約300名の参加のもと開催しました。

開会にあたり京都府古川博規副知事より開会あいさつの後、太田信介元農林水産省農村振興局長より多面的機能支払制度に基づく活動の重要性・役割を再確認するご講演をいただき、続いて谷口和幸高柳広域水土里会（兵庫県養父市）事務局長より兵庫県内でいち早く組織の広域化を実現した取り組み事例をご紹介いただきました。

また、宮崎雅夫全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会顧問より「国政の動向～これからの日本型直接支払制度～」と題し、令和7年度に向けて検討されている新制度の概要等についてご報告いただきました。



研修会場の様子



研修会場（パネル展示）



開会あいさつ 古川副知事

さらに、講演に続いての「活動組織の広域化とその先を見据えて」と題するパネルディスカッションでは、コーディネーターに星野敏京都府日本型直接支払制度支援委員会会長、パネリストに太田信介元農林水産省農村振興局長、矢野尾清佑前高柳広域水土里会事務局長、川口勝彦大宮町広域協定運営委員会代表、栗林英治京丹波町産業建設部長の5名により、ひきつづき農村の保全活動を継続するためには、日本型直接支払制度の活動が有効で、活動の継続のためには活動組織の広域化と自治会や土地改良区などの継続性が担保されている組織等との連携が不可欠である等の意見をいただきました。



コーディネーター 星野敏氏



パネリスト

左から太田信介氏、矢野尾清佑氏、川口勝彦氏、栗林英治氏

## 参加者の感想 (アンケートより)

- ・「地域ビジョンを持つことが大切と感じた。」
- ・「草刈り部隊の活動が参考になった。」
- ・「高柳地区の取り組みを参考に広域化を進めていきたい。」など

## 発行

### 京都府農地・水・環境保全向上対策協議会

発行担当：協議会事務局（京都府土地改良事業団体連合会）

京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104番地の2

京都府庁西別館

TEL：075-451-4137 FAX：075-414-2777



京都府農地・水・環境保  
全向上対策HP